

厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院が不在の 2次医療圏のがん医療の提供体制について

厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院が不在の2次医療圏（注1）のうち、DPC対象病院（注2）が存在している82医療圏で、それぞれの医療圏で最も一般病床数が多い病院（都道府県指定の病院がある場合は都道府県指定の病院）を対象にデータの解析を行った。

●全がんの入院件数について

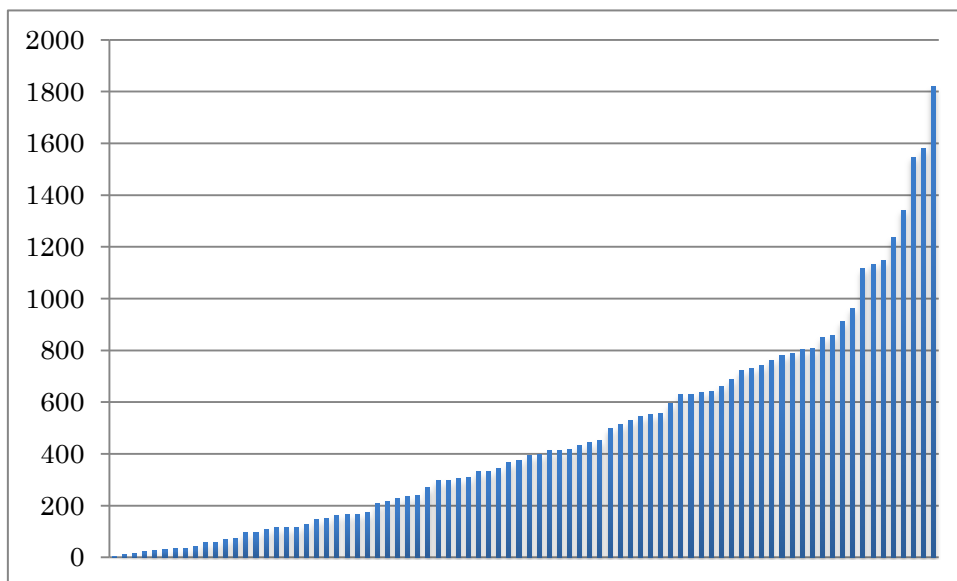
年間で10件未満の病院が1病院

年間1200件を超える病院は5病院

最も件数の多い病院は、年間1819件

平均±SD 465.9±401.0

（10件未満の病院については、4.5件として計算を行った）



注1 2次医療圏については、平成23年10月時点のものに基づいて調査を行った。

注2 DPCについては、平成23年度のデータに基づいて計算を行った。

平成23年度「DPC導入の影響評価に関する調査結果及び評価」最終報告 (<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002hs9l.html>)の参考資料1(15)手術・化学療法・放射線療法・全身麻酔について・参考資料2(7)疾患別・手術別集計

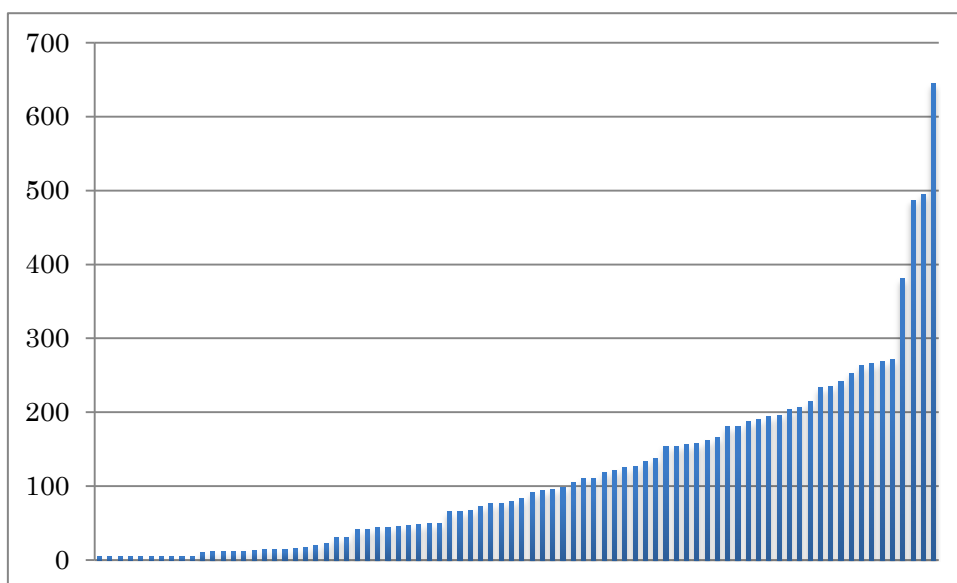
●全がんの入院手術件数について

年間で10件未満の病院が10病院

最も件数の多い病院は、年間645件

平均±SD 115.8±121.2

(10件未満の病院については、4.5件として計算を行った)

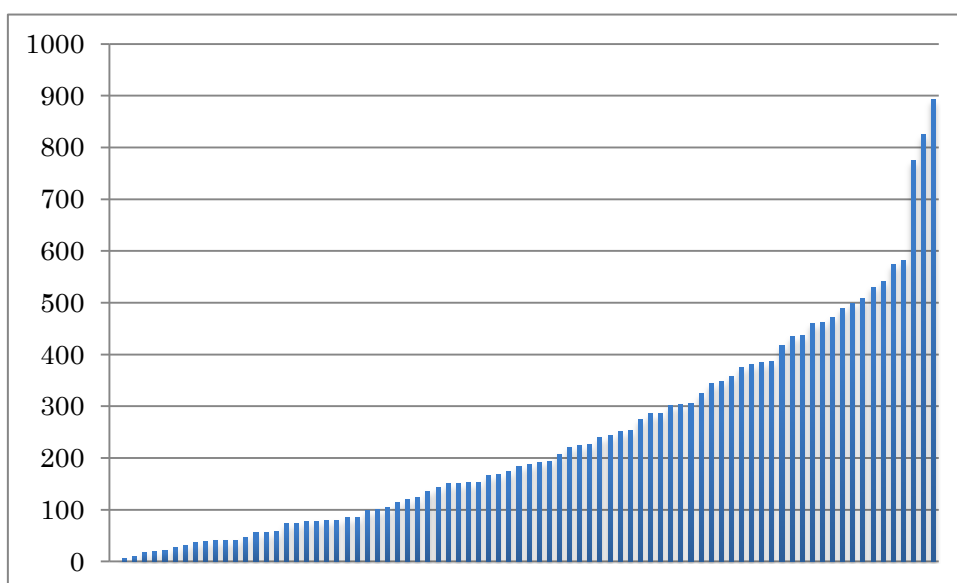


●入院化学療法件数について

年間で0件の病院が1病院、1~9件の病院が2病院

最も件数の多い病院は、年間892件

平均±SD 236.5±198.3

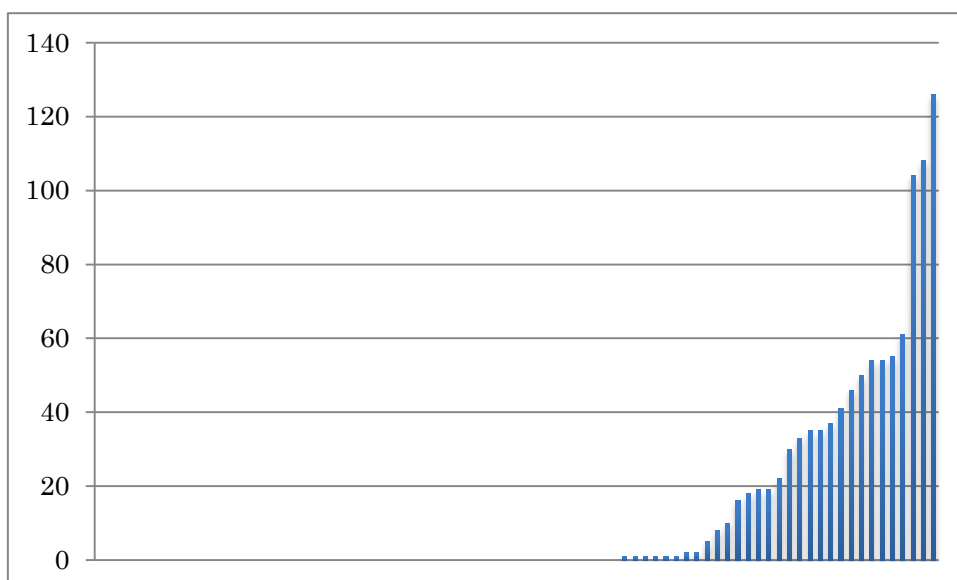


●入院放射線療法件数について

年間で0件の病院が51病院、1~9件の病院が10病院

最も件数の多い病院は、年間126件

平均±SD 12.1±25.6



【参考】 DPCの分析の対象外のものとしては、移植手術症例（血液疾患で特に多い）や、治験対象症例（化学療法症例で特に多い）、平成23年度時点では保険適用となっていない内視鏡手術支援ロボット（『ダ・ヴィンチ』等）による前立腺がん等の手術症例（前立腺がんは平成24年度より保険適用）は、本分析においてカウントされない。詳細は以下の通り。

- ・ 診療録情報の重複提出
- ・ 在院日数1 日以下（外泊日数含む）
- ・ 外泊>=在院日数
- ・ 年齢0 歳未満120 歳超
- ・ 入退院年月日、生年月日の誤り
- ・ 一般病棟以外の病棟との移動あり（DPC 対象病棟となる入院料を算定していないもの）
- ・ 24 時間以内の死亡
- ・ 移植手術あり
- ・ 自費のみ

- ・ DPC 該当せず
- ・ 4 月 1 日以前入院、4 月から翌年 3 月退院以外のもの
- ・ 治験の実施
- ・ 生後7日以内の死亡
- ・ 厚生労働大臣が定めるもの（平成22年診療報酬改定により保険適用となった手術等を受けた患者）